

表紙 こじやく 孤寂な歌人・宮柁二  
記念館  
(堀之内町公民館)

## 特集 地域づくりと公民館

視点 表と裏とその先に  
ひろば 公民館利用団体が果たした役割  
実践記録 「ふるさと散歩道」の実践  
サークル交流 元気っ子くらぶ (小千谷市公民館)  
演劇サークルいろり座 (名立町公民館)  
素顔打見 正司政行さん (両津市)  
阿部 薫さん (塩沢町)

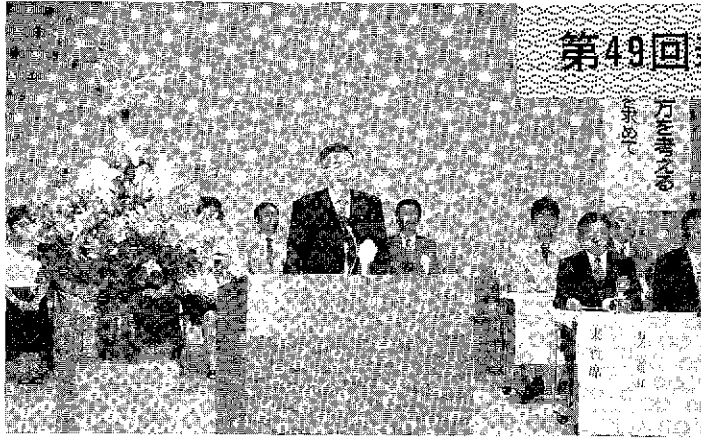
# 第49回新潟県公民館大会開催

## 「屋根のない博物館」と称せられる青海町で 「地域づくりと公民館」について実践提案

第49回新潟県公民館大会が、去る7月16日(旧青海町総合文化会館)きらら青海」を会場に、盛大に開催された。

東西の地青海町は、県下最古4億年前の青海結晶片岩、

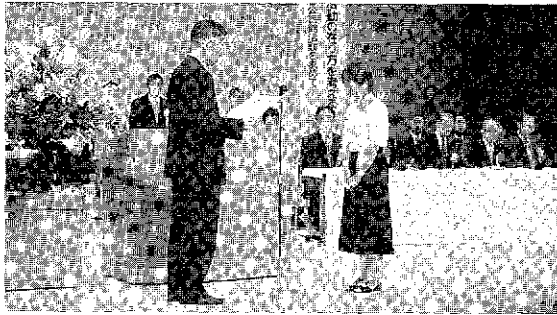
万葉集  
を求めて



主催者あいさつ 今井昭友会長

橋立ヒスイ峡、天下の嶮親不知をはじめ世界最古のヒスイ文化発祥の地・寺地遺跡等があり、また町ぐるみ「屋根のない博物館」として広く知られている所でもあり、参加者六百余名という多数の参加者で、大盛況であった。

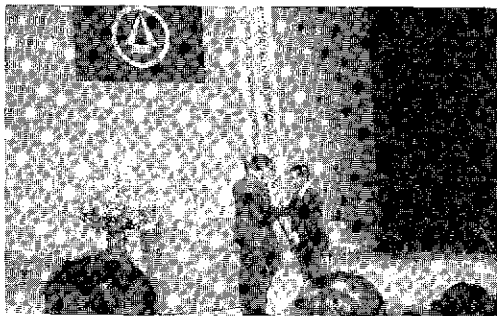
大会テーマは「現代社会における公民館活動の在り方を考える」とし、サブテーマには「住民参加の地域活動を



永年勤続表彰(代表宮川長様)

支える公民館活動を求めて」を設定し、実践発表会方式により、「地域づくりと公民館」を共通の窓口、三つの公民館関係者からそれぞれ実践事例を発表していただいた。

また、今回の大会では昼食後のアトラクションに代って、地域の特性を生かして隣接した青海町自然史博物館を自由観覧として開放していただき、日本で最も豊富なヒスイをはじめ、岩石、鉱物に触れることができた。



定刻どおり午前10時開会。水島祐子さん(上越市立公民館)の的確な総合同会によって開会式の幕が開かれた。

渡辺隆雄上越公民館連絡協議会長の開式のことば、今井昭友会長による主催者あいさつ、ご多忙の中、遠く東西の地においでいただいた野本憲雄県教育長の共催あいさつに続いて表彰式に移る。

優良公民館表彰は、今年度も柏崎市上米山公民館、同米山公民館、同鮎波公民館の三館に。永年勤続表彰者は九名(氏名既報)が受賞した。なお受賞者を代表して上越市立公民館協力員の宮川長様が謝辞を述べられた。続いて来賓の祝辞に移り、新潟県公民館振興市町村長連盟会

### 次期開催地へ大会旗の引継ぎ

長近寅彦様(新潟市長)の祝辞、青海町長小野佳一様の歓迎のことばで開会式を終了した。

その後、一時間半にわたる実践発表会がなされたが、その概要は特集・実践シリーズ欄を参照されたい。

午後の記念講演では「野性動物の学習形態」と題し、オコジョ研究の第一人者野紫木洋先生より、スライ

ドを併映して、ユニークで具体的な野性動物の行動に触れてのお話がなされた。閉会式では、次期開催地大和町公民館長井上馨様のあいさつで締めくくられた。

### ◆新任公民館職員におすすめするハンドブック 公民館経営の手引 第1集・第2集 公民館運営審議会委員の手引

・いずれもB5版500円送料実費

公民館月報(個人購読大歓迎) 定価1部150円 年共・年極 1,800円  
申込先 ☎951-8053 新潟市川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局  
☎・FAX025-224-6073

### 新潟県公民館振興市町村長連盟

## 平成10年度定例総会終了

平成10年度新潟県公民館振興市町村長連盟総会が、去る7月1日(休)新潟会館で開催された。

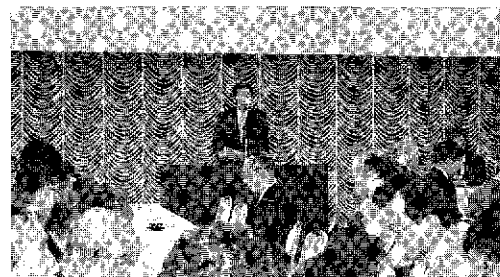
来賓には、久方振りにご臨席いただいた県教育長野本憲雄様、そして本会今井昭友会長を迎えて定刻どおり開会した。

議事は、平成9年度会務報告及び歳入歳出決算について、平成10年度重点目標

並びに事業計画と歳入歳出予算案について提案され、原案どおり可決承認された。

今年度の特徴は、重点目標を地方分権推進、規制緩和推進への対応を加味して設定したことと、予算面で、県公民館大会の共催費を5万円増にしたことである。

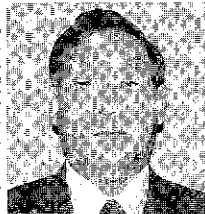
なお昨年度総会から、公民館の現況について話題提供していただいたが、今年度の「坂井輪地域学の実践」(西新潟市民会館長吉田英延様)の発表も、具体的に、大変好評であった。



開会あいさつ、近会長

## 公民館利用団体が果たした役割

白根市公運審委員長 風 間 証 由

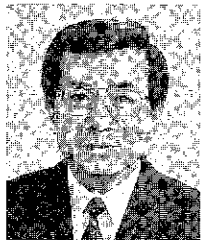


新しい中央公民館とこれに併設される図書館等の建設をめざして、平成六年一月十九日、白根市中央公民館利用団体連絡協議会」が組織され、私も役員の一員として、「白根市に新しい充実した図書館の建設を望む会」と共同で署名活動を行いました。活動も盛り上がり、白根市民約四万人中一万八千人の署名をいただくことができました。これに基づきまして同年五月三十一日、市議会に対し「早期建設に関する請願書」を提出したところ、六月の議会で全会一致で採択されました。

# 視 点

公民館で園芸講座を実施したとしよう。学習機会を提供という大きな役割は「表」になるであろう。

しかし、公民館にとって、その学びの成果を生かす場面をも設定してやれるかどうか



## 「表と裏とその先に」

品 田 尚 道

が、大きなポイントである。例えば、町内にある公園の花壇づくりにつなげたとか、住民がフラワーロードづくりを始めたなどである。公民館は「生活を学べる」ことが、生涯学習社会の形成に向けた公民館の役割でもあり、公民館本来の姿であったはずである。更に、学びや地域づくり活動は、住民が主体的にやるものであ

り、公民館やその職員がやることであってはいけない。これからの公民館職員に求められることは、住民が自主的に学習活動や地域活動を進めていくことができるような助言や支援という専門性である。

「公民館の人づくり」とは、自分たちの地域や社会をよりよくしていくことを考えたり、行動していきける人を、公民館活動を通じて輩出することだと思ふ。(柏崎市生涯学習課・柏崎公民館副参事)

# ひ る ば

仮称「生涯学習センター」の管理・使用方法については、社教委員会または公運審で検討されるものと思いますが、私は将来、図書館については、白根市内にある十カ所の地区公民館と、ネットワークを通じての移動図書館の開設が望ましいと思っています。また、公民館・その他の施設については、小・中・高・大学生を含めた青少年層からより多く利用してもらうためには、どのような対策が必要か? ということが重要であり、これが重要であり、これはワープロ・コンピュータ等を整備充実させ、自由に活用できる場が必要だと思ふ。

私たちが「公民館利用協」が組織され、署名運動・議会に対する請願を行ってから六年目にして、ようやく施設が完成する見通しとなり、うれしいかぎりです。

新しい施設が完成した時には、学習の場・趣味活動・実習・発表など、すべての人たちが有効に利用していただきたいと願っております。

# と公民館 その1

## 大会より 事例発表の概要報告



昔を偲んで小正月行事「馬」の再現

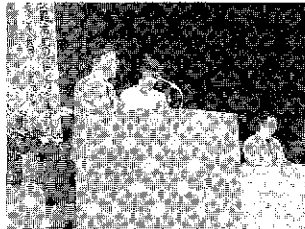
子どもを持つつ若い親たちにもその意識が強く、平成6年頃から、それまで地域の行政や振興策に発言する機会がなかった若年層と女性を中心に、「自分たちの地域を変えてゆくには自分たちの手で何とかしなければ」との動きが起こり、女性が中心となりながら話し合いを重ね45名の出席者をもって「明日の桑取を考える会」の設立総会を開催・発足するに至った。正に自前の地域づくりの会である。

また、会の運営が円滑に進むよう、地区の中心にある公民館に事務局を置き、今の中心的役

一、生いたち  
昭和30年以降、農林業の衰退と共に過疎化が進み、現在130世帯、450人弱となっている。

また合併により、昭和46年には上越市となったこともあり、地域の連帯や自立意識が薄らぎ転出者が後を絶たない状況で、このまま進めば、昔は一つの村であった桑取地区も一地域としての形態が保てなくなるのでは、との危機感が地区全体で意識されるようになっていた。

とくに、



5 悲壮感や負担感を持たぬよう前向きで楽しく活動する。

三、会の歩みと活動

◇アンケート調査の結果

(1) 地区内を通る二本の県道の早期整備と冬期間の除雪対策。

(2) 温泉の掘削とそれを活用した施設の建設。

(3) 地区の中央にあり、小学校に隣接している丸山は、平成元年よりポランテアにより桜の苗木の植栽と管理を続けているので、公園として整備してほしい。

(4) 荒廃している南葉登山道を整備し、自然探訪や森林浴のでき

割を果たしてくれた公民館協力員の女性から事務局長を引き受けてもらい、公民館活動と連携をとりながら活動を開始した。

二、活動の基本方針

1 地区民や関係者なら誰でも、一世帯何名でも参加できる。

2 男性と女性が共に力を合せて活動する。

3 行政や地域の諸団体と連携を密にし、協力しあって活動する。

4 自分たちでできることは、まず自分たちの手で実行する。

### 男性と女性が力を合わせ みんなが主役の地域づくりを目指して

上越市明日の桑取を考える会

会長 曾我文隆  
事務局長 竹内シサ子

- (3) 地域資源の保全と活用
  - 南葉登山道の復旧整備
  - ホテルと遊ぶ夕べ
  - 民俗行事の伝承と保全
- (4) 地域おこし運動の推進
  - リフレッシュイベント事業の企画と推進
  - 年2回程度、地域づくりや教育問題を中心に学習会を開催し、地域内の問題解決の糸口を探っている。特に教育問題では、小学校の児童数の減少から転校を希望する親も居たが、最近はそのような声も聞

- る散策道に、また地区の奥地にある鏡ヶ池にキャンプ場を作ってほしい。
- (5) 桑取川をきれいな川に戻し、魚道を作って、イワナやアユの魚取りが楽しめる川に。
- ◇活動計画
  - (1) 地区行事への積極的な参加と協力(花見会、農業祭等)
  - (2) 地域の環境をよくする運動
  - 空き缶の投げすて防止とリサイクル運動
  - 川と地域のクリーン作戦

現在、リフレッシュ事業等の推進により、関わってきた会員の喜びは大きく、「会活動に頑張ってきてよかった」とか、「本当にやる気になればできるのだ」等と素晴らしい意識改革につながり、会の活動への理解者と参加者が増えていることだ。

五、地域づくりと公民館

公民館に拠点を置いた5年間の活動であるが、以前の文化・学習活動主体の活動枠を超え、地域づくりと一体となった新たな活動の必要性、重要性が認識・確認された意義は、大きい。

かなくなつた。

(6) 文集「あゆみ」の発行

○活動に参加した会員の感想を文集にまとめ、一年間の活動報告書として発行、次年度の活動の参考にすると共に、行政や友好団体にも配布し、会活動への理解に役立てている。

四、活動の成果と地域の現況

この会の特徴は、男性と女性が力を合せて運営しているところにある。特に、女性が活動の中心的な役割を果たしており、それが地域全体の地域おこしへの意識の高まりをもたらし、活動の活性化につながっている。

# 特集 地域づくり

## 第49回新潟県公民館

### 実践



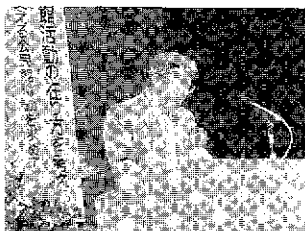
ふるさとカーニバル看板設置作業

大きく二つに別れている。当時青年会的な組織は無く、スポーツ等の趣味の会がそれぞれ活動しており、横のつながりが余りなかったが、昭和54年、公民館の指導もあり、有志でディスコパーティを開いたところ、50数名が集まり、青年会の組織づくりの元になった。

翌年、竹の子会(会の名は、青年会等の堅いイメージを嫌ったものにした)が発足した。当初の会員数26名(男性18名、女性8名)で、会員の交流・連帯・

一、はじめに  
現在、全国的に若者の組織的な活動が衰退しているといわれているが、本市においても例外ではなく、市内の各地区の青年会組織が衰退してきている。そんな中でも、少ない人数ではあるが、地域と連携を取りながら活動を続けている「竹の子会」の活動例を通して、青年活動を考えていきたい。

二、竹の子会の誕生とその背景  
地域は、市街地から15km位離れた山間地、人口700人強、世帯300戸位の所で、その中間活動圏に属する。でも地域が活性化するには、



カーニバルプログラム	
9日(土)	
午前	12:00まで準備
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>1:00~7:00 喫茶営業(鉄板焼、餅そば、その他)</li> <li>7:00~7:30 閉会宣言</li> <li>7:30~9:00 花火大会</li> <li>9:00~10:00 ナンバーファイヤー</li> <li>9:00~10:00 キャンプファイヤー</li> <li>10:00~11:00 仮装盆踊り大会</li> <li>10:00~11:00 仮装大賞発表</li> <li>11:00 仮装盆踊り延長時間</li> <li>11:00 酒灯</li> </ul>
	10日(日)
午前	<ul style="list-style-type: none"> <li>7:00 起床・ラジオ体操</li> <li>7:30~8:30 朝食</li> <li>9:00~10:30 ゲートボール大会</li> <li>10:30~12:00 釣り大会</li> <li>12:00~1:00 昼食</li> </ul>
	午後

## 地域づくりと若者の活動

糸魚川市小滝公民館

主事 中村 久和

スポーツレク活動、地域活動を大きな柱として活動を開始する。また、上部の組織(連合青年会等)には加入しないこととした。

三、主な地域活動

- ◆郷土芸能・文化の保存活動
- 舞い手のいなくなった獅子舞いの伝承
- お年寄りから、笛、太鼓、舞いを習い、地域の祭りや文化祭また地区外の催しに参加する。現在三代目
- 学校、PTAと協力し、稚児の舞い・三番叟の伝承

主に夏休みを利用して、小学校児童に稚児の舞い・三番叟を指導

- 地区文化祭やスキー教室の開催
- 舞台発表や喫茶室の開設、スキー教室の指導
- ヒスイ文化学習会
- ◆地域づくり
- 地域づくりアンケートの実施、地域将来構想づくり参加
- 各世帯訪問によるアンケートによる地域の将来像づくり

四、今後の課題

- 観光資源調査
- 観光資源調査
- 鍾乳洞調査・開口部掘削、ふるさとを知る会ハイキング
- 美化活動
- 沿道、登山道等のクリーン作業、アジサイロードづくりなど
- 新しい祭りの開催
- 地域観光施設を利用したふるさとカーニバル、いこい祭り、岩魚祭り——昭和58年より——
- 会員の減少
- 過疎化等による若者の減少
- 将来への不安
- 小学校・保育園

五、結び

○若者の組織づくりや活動について、公民館としてどう取り組めばいいのか、各位のご指導をいただきたい。

団体活動の敬遠化と年代による考えの違い

○活動の整備・見直し

地域各種団体との連携をより密にして、活動分担等の整備を図る。



# 実践記録シリーズ(27)

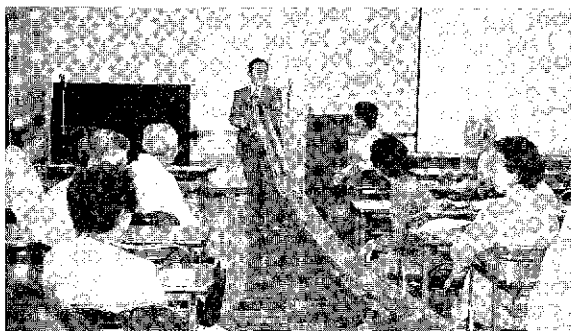
## 第49回新潟県公民館大会実践発表概要

### 住民主体のまちづくりをめざして

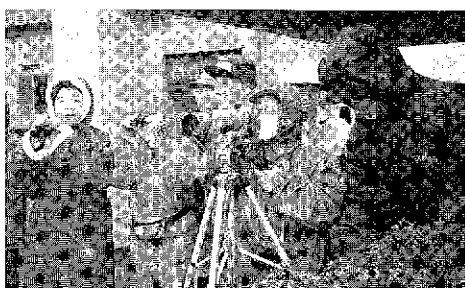
### 「ふるさと散歩道」の実践

#### 一、ねらいと経過

町の生涯学習計画に基づき、生涯学習推進事業として「大潟町についてもっと知ろう」「住みよい町づくりのため町に愛情と誇りを持つよう」「自分の足で探訪し、町の案内人を目指そう」を



自然と環境についての講義の1コマ

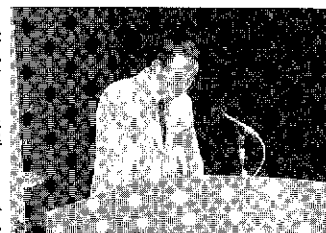


朝日池のバードウォッチング

モットーに、平成3年度から実施。当初は、町の歴史学習会としてスタート、その後ふるさと学習、地域学習の性格が見られ始め、平成6年度には受講生による「ふるさとマップ」を作成、全世帯に配布。平成7年度には福祉・環境問題について考える等、町づくりにも目を向けて学習する方向が出てくる。

大潟町公民館

係長 黒崎 忠夫



県大会での発表

特色として、ボランティア体験教室の開催により、受講生を中心とした大潟町ボランティアスクールが誕生。平成8年度からは、コース別学習としてより受講生のニーズに対応した講座運営となる。

#### 二、平成9年度の活動実践

##### ①学習内容

別掲のとおり全体会として4回、3コースでそれぞれ4回、計16回の講座を設定。

##### ②受講生の主体的活動参加

学習内容の企画検討に当たっては、受講生の代表と十分討議する時間を確保。受講生の意見を反映させ、よりよい講座の開設に努力。

また運営に当たって

#### 平成9年度学習計画

聞こう、見よう、考えよう、私たちの町をおおがたな今年もはじまります!『ふるさと散歩道』今年もご希望に答えて3コースをご用意しました。お好きなコースを選んで、さあ、すぐに申し込もう!!

##### 全体会

回数	月日	曜日	内容	学習形態	講師、指導者、共催等
1	4/25	金	開講式	講義	講師、指導者、共催等 町長
2	5/28	水	北越急行はくはく線現地学習(1泊2日で検討する)	現地学習	六日町生涯学習課
3	11/02	日	文化講演会(町制施行40周年記念生涯学習推進大会に併発)	講義	講師
4	2/25	水	開講式	講義	頸城村公民館長 外ノ池一

##### 第1コース(文化・歴史コース)

回数	月日	曜日	内容	学習形態	講師、指導者、共催等
1	5/13	火	良寛の生涯その1	講義	社会教育委員 小園 毅
2	7/10	木	良寛の生涯その2	講義	社会教育委員 小園 毅
3	9/25	木	良寛の里出雲時方を訪ねて	バス現地	社会教育委員 小園 毅
4	11/20	木	講演「文化あれこれ」	講義	中瀬村公民館長 大川 健夫

##### 第2コース(環境・朝日池コース)

回数	月日	曜日	内容	学習形態	講師、指導者、共催等
1	6/10	火	環境保全とは	講義	講師
2	7/25	金	リサイクル施設、水道水源を訪ねて	バス現地学習	上越市
3	10/15	水	大潟町の野鳥	講義	講師
4	12/10	水	朝日池、時の池のバードウォッチング	現地研修	講師



##### 第3コース(産業・観光・人づくりコース)

回数	月日	曜日	内容	学習形態	講師、指導者、共催等
1	5/25	水	観光と地域おこし	バス現地	糸魚川、西頸城方面
2	9/25	木	上越地方の産業の現状と課題	講義	講師
3	10/24	金	あなたに預けられている	講義	県消費生活センター
4	1/20	火	くらしと税金	講義	講師



は、各コースの世話役から、当日の準備、受付、後片付けに至るまで役割分担を決め、主体的な運営に努めた。

③応募状況  
8年度の閉講式で申込みを受けつけたため、継続参加が多くまた町広報でも募集したが、結果としては口コミによるものが多かった。

④受講生の声(抜粋)  
○自然の中の人と環境問題  
動植物と共存していく人間にとって、科学が進むにつれ地球が汚れ、破壊されていく。せめて自分達が身の周りでできることから、注意しながら考えてい

○観光と地域おこし(西頸)  
観光ポイント、地域的特色、出身文化人等、町の特色がうまくコーディネートされて町おこしが図られていると思った。

三、成果と今後の課題  
1、ボランティア組織の誕生  
①受講生を中心とした大潟町ボランティアサークルの誕生  
○町内の各分野で活動参加  
②受講生による「ふるさとマップ」を作成  
○大潟町案内人として自覚参加  
2、この講座修了者による地域づくり、地域おこしへ

# サークル交流

## 子育てを応援

### 元気っ子くらぶ

小千谷市公民館主催のすこやか子育て教室の受講生の親子4組で、子育て情報誌を作成するサークルとして昨春秋より活動を行っています。現在はメンバーも増え、第一号発行に向けて一丸となりがんばっています。市の広報担当の方から指導を受けたら、ほかの子育て情報誌を読んだり、メンバーが個々に学習をしながら一つ一つの情報誌にしようという情報収集に駆け回っています。



私も夫も小千谷出身ではありませんので、情報収集に限界があり、不自由を感じたものです。私と同じ思いをしているお母さん方も多いことと思います。転入されて来た方だけでなく、子育てをされている方に読んでいただきたいと思っています。そして情報交換や気分転換の場となるようにしていきたいと思えます。

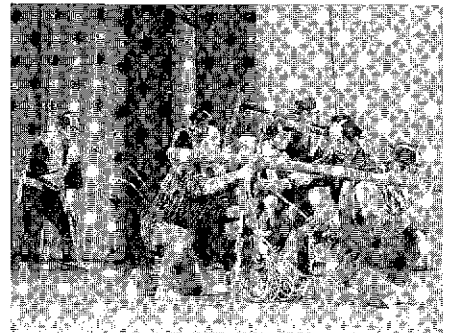
子育ては大変です。のびのびと子供を育てる環境作りのお手伝いとなるような情報誌を作りながら、私たち親子も成長していきたいと思っています。(元気っ子くらぶ)

好きな我が町  
大洲 文子 記

演劇サークルいろいろ座  
舞台にのせて

私達は、素人の集りで地元で演劇を作っています。

最初は、座長が見付けた名立の地震を元にした岡本綺堂作の戯曲「名立崩」を地元の人達で演じたいと願ったことから始まりました。でも、それがきっかけで自分の住んでいる町の良さを知り、今では町に残っている



伝説や偉人を題材に、名立の人にしかなれない素敵な作品が次から次へと生まれました。

私達の演劇は、一人だけが台本を書くのでなく皆で作って行きます。ですから仕上りは、方々出るし、でもとても自然に演技が出来るんです。

涙あり笑いあり、でも見る人の心に何か残ってくれたらと願って仕事の合間を縫って日夜練習を重ねています。秋には「生命輝いて」という作品を発表します。舞台は年一度位ですが、

その他に放送劇も同様に作って有線で流しています。日本一のおんぼろ貧乏劇団ですが、意欲は満々、舞台に立ったらプロの気持ちで頑張っています。(名立町いろいろ座)

座員 石井 陽子 記

## 両津市公民館

主事 正司 政行 さん

この四月より私の隣の席を、公民館2年目、バスケット歴18年(飲み会の時にはスタメン)の正司政行君がみごとゲット。毎日楽しく仕事をしている様子。とても公務員とは思えない仕事ぶりには、目を見はるものがある。美術の才能を見込まれての市展・ビエンナーレ、歌のセンスを見込まれての市民チャリティーカラオケ(彼が)



市民チャリティーカラオケ(彼が)

## 素顔 拝見

所属しているバンド名はシャ乱P)フットワークの良さをかわれるのトライアスロン大会等、つらい顔もせず次々と仕事をこなす正司君のパワーの源は、週に一度のスイミングとのんびりつかる温泉、ビール片手のダビスタと趣味も幅広い。そんな男っぽい彼の弱点は、小さな虫とかわい女性。今日も汗を拭き拭き外を走り廻り、パソコンをたく指もなめらかに、次々と仕事をこなす正司政行君なのです。(同公民館主査 清水裕美 記)

## 塩沢町公民館

主事 阿部 薫 さん

この春、公民館に本当に頼りになる強力な助っ人がやって来た。その名は「あべかおる」。



の心配りは、かゆい所に手が届く「公民館の孫の手」と称されてもおかしくない。

一見、病弱そうにも見えるスリムな体ではあるが、仕事ぶりは冷静にして着実、そして、熱きハートをもってやりこなす。まさに必殺仕事人の風格が漂う。来館者との対応は腰が低く、話しはなめらかです。こぶる評判はいい。税務課固定資産係の顔として活躍していた頃がしのばれる。環境にやさしく、人にもやさしい(酒には敵しい!)そ

ある成人教室の長期講座を一手に引き受けながら、青少年健全育成に日夜励む姿は、塩沢町の社会教育・生涯学習推進の大黒柱となる日が、そう遠くはないことを予感させる。がんばれ、あべちゃん!(塩沢町教育委員会派遣社会教育主事 中川久男 記)

恵贈資料紹介

牧村ないすプラン

牧村生涯学習推進計画

牧村生涯学習推進本部



ハヴィガーストによる発達課題との整合性、関連性を重視しながら生涯各期の学習目標と学習計画が立てられ、とても分かり易く...

アドバイザーに、上越教育学教授若井彌一先生をお迎えして、適宜適切なご助言をいただきながら作成した経緯がうかがわれます。

恵贈資料紹介

佐倉市民カレッジで学んだ人々が綴る

私たちにできる平和教育

佐倉市中央公民館

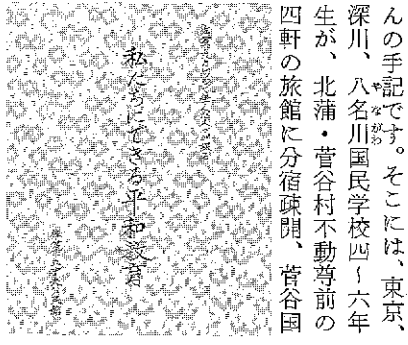
昨年八月、関プロ千葉大会参加の折、本県担当分科会助言者の佐藤貞正先生より、「佐倉市はすごいよ、平和教育やっているよ、読んでみなさいこの資料」と手渡されたのが「私たちにできる平和教育」です。

目を通して驚いたのは、この資料が、公民館で学んだ人々が語る「戦争体験集」だということです。さらに私を驚かせたのは、学童疎開の思い出のNさ



とくに、第5章生涯学習の基盤整備を設定し、学習情報提供・相談体制の整備充実を重視しているところが特徴的でした。

その具現化したものが、牧村生涯学習情報誌「ないすガイド」のようです。今後の継続・実践化も大いに期待しております。



んの手記です。そこには、東京、深川、八名川国民学校四、六年生が、北浦・菅谷村不動尊前の四軒の旅館に分宿疎開、菅谷国民学校に通ったとあります。当時の菅谷校の校長は私の父で、よく疎開児童の話は聞かされており、実感として読み取ることができました。本県でも、津南町のおかあさんのひろばの皆さんが「体験記・女たちの戦争―二度と過ちをくり返さないために―」があり、入手して読ませていただきます。感銘を受けた覚えがあります。



平成10年9月の催物ご案内 ★プラネタリウム新番組

6日(日)から「びんちゃん3号 土星への旅」を投影します。内容 あゆみといとこのりょうが、宇宙うさぎのびんちゃんとともにロケットに乗って土星やその衛星を探検するという物語です。秋に見られる星座や神話もたくさん紹介します。

※ 1日(火)から5日(土)までは保守点検のため、プラネタリウムの投影はお休みです。6日(日)から新番組を投影します。

観覧料 入館料を含めて、大人710円、小・中学生410円、幼児は無料ですが観覧券が必要です。定員 210名(小学生以下は保護者の同伴が必要です。)

お問い合わせ先 ☎(025)283-3331 FAX(025)283-3336 〒950-0941 新潟市女池2010-15 新潟県立自然科学館 9月の休館日は 7日(月)、14日(月)、21日(月)28日(月)です。

あ と が き ◇県大会は県西の地、果たして参加数は?。一抹の不案も上公連の皆さんのご努力で六百余名突破、会場の座席数確保という嬉しい悲鳴に変換しました。おかげ様で無事終了。青海大

会での渡辺隆雄実行委員長さんのリーダーシップの下、事務局の下島彰治さん、会場地の山岸洋一さんはじめ実行委の皆々様の献身的なご努力により、成功裏に終了できました。ありがとうございました。(鈴木 記)

表紙解説

孤寂な歌人・宮柊二 記念館

宮柊二は堀之内町出身で、戦後昭和に活躍した歌人。記念館は、役場前公園の敷地内に建っている。(堀之内町公民館)

発行所 新潟県公民館連合会 〒951-8053 【新潟市川端町2-9・県林業会館内】 【TEL・FAX (025)224-6073】 発行人 会長 今井昭友 編集人 事務局長 鈴木友夫 【定価1部150円 年共・年極1,800円】